

CUBAPON キューバ友好訪問団

米作り農業視察、そしてメーデー

2008年4月25日～5月3日

(福島/村上久美子)

2008年4月25日に出発したキューバ訪問団は「米作り農業視察、そしてメーデー」、さらに今年、キューバへの日本人移民110周年にあたり、青年の島を訪れ日本人会の皆さんと交流を深めようという、実にさまざまなテーマを携えての訪問となりました。また、2月にフィデル・カストロ議長が引退を表明し、ラウル・カストロ新国家評議会議長のもと、キューバはどのようなのだろう、という思いも一方にありました。

今回の訪問団は君島団長を含め、総勢8名。米づくりを通して新たな交流のかたちを模索しながら、「キューバの今」を体感してきました。

青年の島にて



青年の島の日本人会会長の宮沢さんとともに訪れたモデル収容所では、第2次世界大戦中、日本人が収容された別棟や資料館で身近なお話を聞くことが出来ました。

また、湊さん宅をはじめ日本人移民の皆さんのお宅を訪問した際に頂いた新鮮な果物は忘れられないものとなりました。

米づくり農業視察

「キューバが好き。稲作が好き」、この2点で共通している仲間を迎えることができ大変嬉しいーと、稲作研究所のホルヘ・コルナンデス所長が暖かく迎えてくれました。

日本の JICA も支援しているというキューバ稲作農業に、民間の友好団体としてどう関われるのか、まだまだ未知数ですが、この2つの共通点が私たちを結びつけ、今後の新たな交流を産むキーワードになるのではないかと思います。

今回、日本一の米どころ新潟が誇る若き農業エキスパート3人が大活躍でした。試験田を一目見るなり、「水平じゃありませんね」と羽深青年。「これで充分だと私たちも思っはいいんです」と応えるホルヘ所長のやりとり、農業シロウトの私はただただ感心しきりでした。



そしてメーデー

iCuba salda a todos los trabajadores del mundo!

ハバナの革命広場を埋めつくすハバナ市民のシュプレヒコール。ラウル・カストロ新議長は演壇から手を振って応え、あいさつはCTCのメサ書記長が行いました。

手作りのプラカードには「VIVA FIDEL」の文字。フィデルの写真がたくさん見られ、「ビーバ、フィデル!」、
「ヘッフエ・フィデル! (フィデル司令官!)」の声もたくさん聞かれました。



2004年10月、フィデルが演説後に転んで膝を複雑骨折した直後に出された彼のメッセージをふと思い出しました。「医者には全身麻酔を打つことを勧めたが、全身麻酔を打つと重要な出来事に指示が出せないで拒否した・・・」。わずかな空白をも自らに許すことなく、痛みをおして最前線に立ち続けたフィデル・カストロという人の気迫を感じた出来事でした。

その彼が引退を決意するに至ったこと、その決意ができる状況に、今のキューバがあることは、むしろ喜ばしいことなのかもしれません。彼の姿が革命広場の壇上にないのは寂しい限りですが。

フィデル自身、若さと経験の無さから幾つか間違いを犯した、と述べています。確かに行きすぎた政策もあったかもしれません。現状への不満も不安もきっとあるでしょう。けれど、たくさんの人たちが、フィデルの超人的な献身や努力をちゃんと認めて、こうして感謝している・・・そう思ったら、涙がこぼれてしょうがない、という状態に陥ってしまいました。

そんなキューバの人たちって本当にステキ。だからキューバ訪問はやめられない。

あの空と海、キューバの心に触れる旅に、いつかまた、ご一緒しましょう。

【2007年度収支報告】

(2007年5月2日～2008年5月1日)

収入

繰越金	0	
07会費	210,000	62人、10団体
08会費前受け	9,000	3人
カンパ①	10,000	3件
物資販売①	0	コーヒー未収
物資販売②	19,500	カレンダー、ゲバラ札、グピータコーヒー缶
借り入れ	24,247	IFCCより
雑費	310	銀口利息等
計	273,057	

支出

会報印刷代	29,300	会報29,30,31号
その他の印刷	10,400	チラシ、資料、封筒等
送料	73,760	会報3号分、他
支援物資①	3,045	日本語教材(青年の島)
訪問団補填費	102,000	視察団・通訳経費等
資料買上げ	2,000	五人解放DVD代
06借入返済	52,552	IFCCへ
物頒仕入れ	0	
計	273,057	

【報告】◆アジアパシフィック会議への代表派遣カンパ43000円は、次年度収支報告となります。

◆スリランカでの会議へのカンパと08年度会費を混同された方がおられたかもしれません。ご容赦ください。

◆来年のキューバ革命50周年に向け、幾つかの企画が進められています。

1月には、CTC 設立70周年記念にCUBAPON は招待されています。4月には「労働者交流団(仮称)」を関係団体と相談し計画したいと思っています。

◆CUBAPON は革命50年の年にキューバ政府から『連帯勲章』を授与されることになりました。